



養徳の森

令和5年11月21日（火）

学校だより 第7号

玉陵中学校長 松本 恒明

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「自立貢献」

学校保健委員会講演会

『スマホの向こう側』

～インターネット世界にSOSを 出す子供の理解と対応～

11月2日（木）、玉陵小・中学校保健委員会講演会を開催しました。当日は、多くの保護者の方々及び学校運営協議会委員の方々にもご出席いただき、ありがとうございました。

講師の先生は、熊日新聞で「スマホの向こう側」を連載されている帯山中の田中教頭先生でした。まず自己紹介からされましたが、専門は「困っている子供たち」とおっしゃったお言葉が印象的でした。

現在の社会は、インターネット・SNSの普及や生成AIの出現など、情報技術が著しく進歩しています。それに伴い、スマホ等の児童生徒の所持率も高くなっており、子供たちの生活環境にも大きく影響しています。便利な反面、対面でのコミュニケーションとは異なり友人等とのトラブルや犯罪等に巻き込まれる危険性もあります。

講演では、**今の子供の特徴**として、①**傷つくの**を極度に怖れる、②**身近な人に助けてが**言えない、③**折り合いをつける力の低下**の3点を挙げられました。そのため、インターネット空間に自分の居場所を求める子どもたちが増加しているそうです。

また、困ったときに、適切な人に助けを求められる子供に育てるために、子供を「甘やかす」のではなく「甘えさす」ことが重要であるということを示唆していただきました。



以下、講演をお聞きしての保護者の方々のご感想を紹介します。

- 大変聞き取りやすく勉強になりました。子供は親の不安な顔をよく見ていること、ゲームの中でも現実を感じていること、他にもいろいろと気づきがありました。最後に玉陵小・中のアンケートで大人に相談するということで少し安心しました。
- 大人である私たちが視野を広げること、現実（実態）をよく見ることの大事さを感じました。
- ゲームばかりして自宅学習をあまりしようとしなくて悩んでいましたが、本人の中に何かさびしいものがあるのかと思いました。もっと会話を増やしていきたいと思います。
- 子供との関わり、ふれあいの多い少ないが、子供の心に大きく影響し、子供の心に影を落としたりするのだなあと思いました。完全にはできないけど、しっかり自分なりに子供を受け止めてあげて、守って行ってあげたいです。
- 熊日新聞で読んでいます。田中先生を講師に招かれると知り、ぜひ参加したいと楽しみにしていました。今後の子育て地域の子育てにいかしたいです。

今後、学校・家庭・地域と力を合わせ、子供たちの成長に向けて支援していきたいと思えます。講師の田中教頭先生、ご講演いただき誠にありがとうございました。

玉陵中、新たに動き出す!

いよいよ令和6年度生徒会役員選挙に向けて動き出しました。11月20日（月）から選挙運動が始まりました。立候補者がどんな玉陵中をつくっていききたいのか、子供たちの主体的な動きがとても楽しみです。

※11月18日（土）玉陵中校区PTAレクリエーション大会は大変お世話になりました。